中山綏子　　陶芸

作品名:「懐郷」
　　　　「故郷への想い」

陶芸をはじめて 50 年余り、日展作家(故)西本瑛泉先生、日展作家西本直文先生の下で技術のみならず、縄文時代からの焼き物発展を学びました。
市民センター、小学校クラブ、高齢者施設での活動を通して、土のぬくもりを感じ、造形する楽しさを伝えると同時に地域に陶芸を広げるよう、心がけてまいりました。
【座右の銘】
「小さな一歩も大きな進歩」「継続は力なり」

山口祥子　　水彩画

作品名:「パンフルートの妖精」
　　　　「コンポジション」

絵を始めたのは高校時代の美術部からです。その後、仕事や結婚を経て、子育てや介護などでずっと中断していましたが、水彩画教室にさそわれたのがきっかけでまた絵の世界に戻ってきました。現在所属している水彩画教室は、アットホームな雰囲気で、庭の花や野菜など絵のモチーフや気候の良い時期には野外スケッチなど描く対象には事欠きません。また、皆で毎年、尾道、竹原、湯来、牛窓などに出かけ、スケッチを楽しんでいます。廿日市市美術協会では、様々なジャンルの方々との出会いがあり、皆さんの作品に感動する毎日です。これからも絵と共に人生を歩んでいけたらいいなと思っています。